

教職員の教育環境について

1 教育環境における課題

- (1) 価値観が多様化している保護者対応や耐性が弱くなっている児童生徒の対応など、学校が抱える教育課題が複雑化・困難化している。また、地域のつながりが希薄化し、学校の果たす役割が拡大している。
- (2) 新学習指導要領による授業時数が増加している。
- (3) 教諭等の超過勤務の主な理由は、部活動指導、生徒指導、進路指導、学校行事等である。

※ 上記の要因等から多忙感を感じている教職員が多い。

2 超過勤務の実態

【80時間超えの教職員数】

	長崎県 (H29)		南島原市 (H29)		南島原市 (H30)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
小学校	1,037	1.5%	24	0.8%	3	0.1%
中学校	6,990	16.7%	313	18.4%	176	10.8%
合計	8,027	7.3%	337	7.3%	179	4.0%

*人数：月ごとの延べ人数

3 本年度の主な改善策

- (1) 多様な人材の参画による学校教育力の向上とともに教職員への支援を目的として学校支援員を本年度から配置している。

学校支援員は、教職員がより児童生徒と向き合う時間を確保し、質の高い教育を提供できるように、以下の業務を教職員に代わって行う。

- ・ 授業で使用する教材等の印刷や物品の準備
- ・ 宿題や提出物の受け取り、確認
- ・ 小テスト等の採点
- ・ 調査物のデータ入力、名簿の作成
- ・ 電話対応、徴収金の受け取り、確認 等

※ 現在 小学校 13名 中学校 7名 合計 20名配置

- (2) 「南島原市運動部活動の方針」を策定し、適切な休養日及び活動時間を設定したので、その方針を遵守することによって、教員の負担が過度とまらないようにする。
 - ・ 週当たり2日以上休養日を設ける（平日と休日）
 - ・ 1日の活動時間を、長くとも平日2時間程度、休日3時間程度とする
 - ・ 参加する大会数は、月に1回程度を上限の目安とする